

一般質問

ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。

子ども食堂の開設・運営支援を！



質問者
利根川 茂 議員

放課後の子どもたちが、無料や安価で食事の摂れる「子ども食堂」が全国で2200か所、県内では169か所が開設されています。近隣では、中井町・箱根町等にも設置されています。

7人に1人の子どもが、生活保護基準以下で生活しているとの統計もあります。

食の安全と確保は、何よりもかえりたいものです。

本町でも、社会福祉協議会・NPO法人・各地区ふれあい会等で開設できるような働きかけや、運営支援を町としてできませんか。町長のお考えをお示しく下さい。

A

必要性を感じ
検討を指示

回答（町長）



中井町や箱根町等で実施している「子ども食堂」については、承知している。将来的に必要となる事業であると感じ、各職員に検討を指示していた。

多様な社会の中で、共働きやひとり親世帯が増加傾向にある社会的な背景を察し、単に所得が低く困っているということだけでなく、子どもの居

場所づくりが必要とされ始めていると感じている。子育て世代の支援並びに協力者の、生きがいの創出・世代間交流による郷土愛の醸造などを図ることができると子どもの居

町営住宅の進捗状況について



質問者
井上 栄一 議員

籠場住宅・町屋住宅は、現在建築工事が順調に進んでいるところだと思えます。これらの住宅整備事業については、一昨年度30年間の債務負担行為を議決したところであり、町営住宅整備事業の30年間の順調適正な運営には、入居者の募集・確保が重要であります。そこで、これからの籠場住宅、町屋住宅の入居者募集等の状況、債務負担行為議決時以降の収入

場所づくりの必要性を感じており「子ども食堂」について検討を始めた。町が直接運営するか、ボランティア団体を募るなど、支援の体制づくりを検討していく。

A

入居者募集は
民間のノウハウを
活かして

回答（町長）



支出状況の変更等の箇所、今後の計画や事業の進捗の見込みについて、町長のお考えをお聞かせください。

籠場住宅の入居者は、現町営住宅の集約化を目標に、町屋住宅の入居者募集は、民間会社のノウハウを活用して行う。今後、債務負担行為のシミュレーションも収入支出の部分で変更が生じるので、再度シミュレーションしその都度説明をしていきたい。

松田に住み続けていたために、松田町の魅力というものをセッティングしなければいけない。歴史と文化の結節点であり、自然環境に恵まれているところに若い方々と結びつくには、人・農地プランや農地中間管理機構を利用して入居者と松田の自然の魅力を結び付けるなど情報提供して住んでいただく。



町屋地区に建設中の町営住宅